

DAITO ROTARY

OSAKA JAPAN

CLUB WEEKLY BULLETIN

第2660地区

大東ロータリークラブ

■ 事務所
〒574-0046 大東市赤井1丁目2-10
ポップタウン住道本館4階
TEL:072-875-1200
FAX:072-875-0590
E-mail:office@daito-rc.org
http://www.daito-rc.org/

■ 例会
毎週火曜日 12時30分～1時30分
〒574-0076 大東市曙町4-6
大東市民会館 4階「大会議室」
TEL:072-871-0001

◆4つのテスト◆

言行はこれに照らしてから

- ① 真実かどうか？
- ② みんなに公平か？
- ③ 好意と友情を深めるか？
- ④ みんなのためになるかどうか？



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

- Reach Within to Embrace Humanity -

創立 1967年12月26日

■ 会長 大西 寛治
■ 幹事 上田 正義
■ 会報委員長 北本 良弘

2011年～2012年度
国際ロータリーのテーマ

こころの中を見つめよう
博愛を広げるために

国際ロータリー会長
カルヤン・バネルジー

平成23年9月6日

No. 2127

H23.8.30 (No. 2126の例会記録)

今週の卓話 (9月6日)

「新世代のための月間に因んで」

大東 弘 新世代奉仕委員長

次週の予定 (9月13日)

「大東インターアクト創立35周年に因んで」

中野 秀一 インターアクト委員長

先週の例会報告

◆ 出席報告 (8月30日分)

会員数 44名 出席数 37名 欠席者 1名
特定免除 6名 その他免除 0名
出席率 94.87%

前々回8月9日分

ホームクラブの出席者 30名 81.08%

メイクアップの結果 36名

特定免除 8名 その他免除 0名

欠席者 0名 修正出席率 100.00%

ビジター 大阪大手前RC 竹森 敏磨 氏

ロータリーソング

「我等の生業」 「四つのテスト体操」

ニコニコ箱

- ・楽しい例会、仲間に会える楽しみ
奉仕の出来る喜びに感謝 大西 寛治 君
- ・仕事の紹介を頂きまして
上田(正)会員・橋本会員・鍛冶澤さん
有難うございました 感謝 中 恒夫 君
- ・仙台の下見無事終了しました 大矢 克己 君
- ・塩釜東RCメイクアップに行ってきました
大変勉強になりました 橋本 正幸 君
- ・大矢会員・田川会員・木村会員
東北へのメイクアップに参加して頂き感謝
橋本 正幸 君
- ・木村会員 写真有難うございます 橋本 正幸 君
- ・塩釜東RCメイクアップ
秋の家族会下見無事終了 感謝 木村 克己 君
- ・しまなみ海道へ夫婦で行ってきました
中野 秀一 君
- ・早退お詫び 間 紀夫 君



8月27日に地区ロータリー財団セミナーに松原委員長と樋口ガバナーエレクトとで出席してまいりました。寄付増進プログラム、ポリオプラス部門・財団人道的補助金部門・教育的プログラム部門・未来の夢計画・東日本震災復興支援の大きなテーマに沿って各委員長さんが説明し、寄付のお願いや、各補助金についての申請の仕方についての説明がありました。今、大東クラブで取り組んでいただいている東日本震災復興支援についても説明を聞き、資料も頂いております。松原委員長の方から必要な各委員長さんに説明して頂きます。



セミナーも終わり外を見たら大雨でマンホールのふたが間欠泉のように小さな穴から水が噴き出ていました。帰るに帰れず雨宿りをしていました。

さて民主党の代表選挙も終わり菅さんに変更野田佳彦さんが選ばれました。震災復興、原発対策、景気対策、外交問題、等の問題解決が急務とされていますが、小沢一郎さんの顔色を伺っての代表選、総理大臣選挙は国民として悲しいことですが、小沢・鳩山さんから推薦された海江田さんが選ばれなかっただけでも良かったと、個人的には思います。

株価も下がり、円安状態も改善されず、何か手を打ってもらわなければと思います。

今日は卸売市場などで、取引状況を表現する市場用語と見方を解説します。

堅調・・・価格が下らず、むしろ上げ気味な状態。小高い(小幅高)・・・価格が少し上昇する事。しっかり・・・相場がいくらか高くなり、上げ気味な状態。強気配(高気配)・・・価格が上昇気配にある状態。上申(上がる)・・・高値に上げる事。続伸・・・あがった株価が、引き続き上昇すること。品薄高・・・品薄の為価格が上昇する事。じり高・・・価格がじりじりと高くなること。強含み・・・価格が高くなろうとしている状態。

強い・・・現実に価格が上がりそうな状態。強もちあい・・・価格が上昇したまま保っている状態。はね返し・・・安くなった価格がまだ安くなりそうな状態から急に高くなる状態。小戻す(小直す)・・・価格がやや戻すこと。暴騰(急騰)・・・一時に大幅に価格が上がる事。反発・・・下がっていた相場がはね返すように上がる事。

軟調・・・価格があがらず、むしろ下げ気味の状態。小安い(小甘い)・・・価格が少し下落する事。弱気配・・・価格が下落傾向にあること。下押し・・・価格が安値に下がること。続落・・・安値に下がった価格が引き続き下落する事。じり安・・・価格がじりじりと少しずつ安くなること。

弱含み・・・価格が安くなろうとしている状態。弱い・・・現実に価格が下がりそうな状態。弱もちあい・・・価格が下がったまま保っている状態。安人気・・・一般人気で価格の下落が予想されている状態。反落・・・上がってきた相場が反対に下がること。ぼんやり・・・市場に活気がなく価格が下げ気味で気の抜けた状態。高値疲れ・・・高値が相当の期間続いて上がりそうで上がらない状態、もしくは反落が予想される状態。





もちあい・・・価格が動かず同一水準を保っている状態。小動き・・・高値、安値に多少の動きがあっても中心相場が持合いの状態。まちまち・・・さんち、品種により価格の上げ下げが異なる事。横ばい・・・相場が上にも下にも動かないこと。

9月4日（日）は、第32回ロータリー旗争奪少年野球大会が開催されます。参加の程、お願いします。

委員会報告

◎社会奉仕委員会

橋本 正幸 委員長

平成 23 年 8 月 24 日

大東ロータリークラブ 様

塩釜東ロータリークラブ
会 長 日 野 勝 博

この度は猛暑の中遠方より、橋本、田川、大矢、木村様に当クラブ訪問をして頂き御礼を申し上げます。また例会のクラブフォーラムにビジターとして出席を頂き、その席上当クラブに対し、お見舞いと励ましの言葉を頂きました。また義援金まで頂戴し会員一同心より感謝いたしております。例会では活発な意見交換が行われ貴重な情報交換ができました。何もお構い出来ませんでした。復興を目指す塩釜の地場産品を送らせて頂きました。特にタラコは、工場、自宅とも全壊し六月一日に再開した佐々木副会長の製品です。皆さんでご賞味頂ければ幸いです。またこちらにお出かけの際はご一報ください。会員一同お待ちしております。

貴クラブのご発展と会員皆様のご健勝とご祈念を申し上げ御礼に代えさせていただきます。





「 雑 感 」

上田 陽造 会員

久しぶりに卓話担当となりましたが、最近私が感じている事をお話させて頂いて、責務を果たしたいと思えます。

私がロータリーに入会させてもらってから35年になりますが、ロータリーの金科玉条である職業奉仕を十分果たしてきたか、又これからも実践できるか、と言った事を考えさせられる経済環境になったナーと感じております。



私は現在、社長を交代して第一線から退いて6年経過しました。事業運営は息子に任せて専ら業界関係のお役に立てばと皆様の助けを頂きながら動いております。

私どもは金型を作っておりましてこの業界に参入してから55年経ちました。

金型は大量生産するためのツールで家電、自動車、建設機械や建築金物、瓶や缶やペットボトルの雑貨品などが生産される時に必要とされます。使われる材料によって、鉄板のような金属板を加工するものや、プラスチック、ゴム、ガラス、自動車のエンジンやミッションケースをアルミや鉄を流し込んで形つくる鋳造型などそれぞれの分野に分かれた専門技術でもって構成されております。

私のところは金属の板をプレスする型を作っておりまして、1950年代半ばから60年代は、洗濯機や冷蔵庫と言った白物家電の生産のお手伝いをさせて頂いて居りました。当時、大川会員は三洋電機の冷蔵庫工場で技術者として勤務されておられ、色々なアイデアを貰ったのを覚えております。

その後モーターゼイションの時代に入って自動車メーカーからの受注が増えて現在は95%以上が自動車関連向けと成っております。

フロアー、ルーフ、ドア、ボンネット、トランク、フェンダー等の部品を作る型をカーメーカーに提供しています。





自動車産業の発展と共に順調に生産活動が出来ていましたが2008年のリーマンショック以来自動車業界の環境に著しい変化が起りました。

消費者の動向は個性的な価値観を求める方向や、若年層の車離れや、少子高齢化や円高の影響、今年東日本大震災で部品の調達に支障が出て生産台数も販売台数も減少しています。

ご存知のように家電製品の生産拠点は早くから海外に移転され、家電関係の仕事をされていた下請企業は大打撃を受けました。我々の金型関係の企業もご多分に漏れず倒産、廃業、得意先転換と仕事探しに躍起としておられました。私どもは当時、自動車関連の仕事が潤沢で問題とはなりませんでしたが、然し、今は『自動車よお前もか!』と言った感じです。

生産量も国内で作るより海外で作る量の方が多くなっています。

日本メーカーの2010年の四輪車の生産量は

海外生産 約1,300万台 内アジア 710万台

国内生産 約960万台 (1000万台割れ)

中国の国内生産は約1820万台で日本の国内生産の約2倍近くでここ1~2年は毎年400万台の伸びです。

日本経済がデフレ化していて金型の価格競争が厳しくなっていたところへショックが重なって壊滅的なダメージを受けております。2009年には日本を代表する金型メーカーがタイの中国系企業に買収されたり、2010年にはNO3が破綻を来たしております。この様な環境は簡単には脱却出来ないし益々加速されて行くと思えます。

一方、日本を除くアジア経済はますます成長して行きますので物づくり産業は海外進出へと拍車がかかってきます。当然、技術移転があつて徐々に技術格差は縮まって産業の空洞化にスピードが加わってゆきます。

海外へ進出した自動車産業ではグローバルな資材調達をしており、過つては日本から調達していた物を近隣のアジア諸国から調達しています。金型も日本で作るとコストや関税の関係で価格競争には歯が立ちません。

また日本で作る自動車の部品も近くの国から入れようとされていますし、車も完成車の逆輸入が増えてきます。

このように空洞化が進んで行く為、自動車産業と共に日本国内で物づくりをして経営を維持拡大して行くのが難しくなってきました。

日本で職業奉仕を実践して行くのが難しい環境になって来たと言う事です。

ユーザーの満足度を高めて適正な利潤を上げて税金を納め、従業員の生活の向上を





図るためには仕事が担保されている話です。

世界的なレベルでの金型需要は拡大していますが、日本に限って見ると需要はゼロには成りませんが、日本製の金型を使って貰えるのも、技術的格差が有る内で、時間の問題となっております。

現在、物づくりで職業奉仕を实践出来る環境を模索しております。

一つは、ロータリーはインターナショナルですから、善し悪しは別にしてアジアのどこかの国へ出かけて今の技術やノウハウを持って行けば十分な職業奉仕はできると思っています。需要と供給とのバランスが取れていませんので自己の職業上の手腕で技術的な問題解決やニーズに役立てることが出来そうです。

二つ目は、日本国内で簡単ではありませんが自動車関連以外の仕事を探すとか・・・自動車産業のように裾野は広くありませんが活気がある産業もあります。

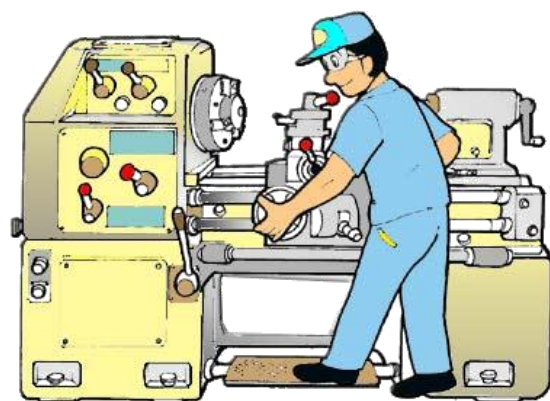
航空機産業、工作機械産業、建設機械産業、電車などの車両産業などがあります。

航空機ではB787やエアバスA380では大手企業が参入して翼とか機体の部位が造られております。B787は2020年までに製造される機体は売り切れていると言われております。

工作機械は輸出の伸びが大きくて、リーマンショック前に近づいています。円高で利益に影響があるかも知れませんが日本の優秀さを買われています。

車両産業はエネルギーの効率と安全な移動スピードの高まりで各国は輸送手段として計画されています。輸出産業の柱となって貰いたいです。

職業の奉仕の理想を實現しようと追いつけて来ましたが、日本国内での物作り環境は難しくなって来て、これからも実践しようとするグローバル的に考えねばならなくなったのかと頭を悩ましているところです。





鳥海山 : 標高 2236m

百名山 16/100

鳥海山（ちょうかいさん、ちょうかいざん・日本百景の一つ。2007年（平成19年）に日本の地質百選に選定された。

山体は山形県の飽海郡遊佐町・酒田市と秋田県の由利本荘市・にかほ市の4市町に跨がるが、山頂は飽海郡遊佐町に位置し、山形県の最高峰である。（山頂が飽海郡となった理由は 歴史 を参照のこと。）

東北地方では燧ヶ岳（標高 2,356m）に次いで2番目に標高が高い。中腹には秋田県の最高地点（標高 1,775m）がある。山頂からは、北方に白神山地や岩手山、南方に佐渡島、東方に太平洋を臨むことができる。



全体としては玄武岩ないし安山岩（ SiO_2 51~62%）の溶岩からなる富士山型の成層火山であるが、北側から西側にかけては側火山や火口、さらには河川による侵食で、複雑な山容を示している。新旧2つの二重式火山が複合したもので、侵食の進んだ「西鳥海」と新しい溶岩地形をもつ「東鳥海」とからなり、それぞれに中央火口丘と外輪山がある。

紀元前466年には大規模な山体崩壊を起こし、岩石や土砂が現在のかほ市に堆積して象潟の原型を形成している。1801年の噴火では死者8名の記録があり、生じた溶岩ドームは東鳥海山の新山として現在も残っている。1974年3月から5月にかけては新山の東側火口および荒神ヶ岳の割れ目から噴煙を噴出した。

山の南側には夏、「心」の字の形に雪が残る「心字雪渓」がある。山頂付近には夏場も溶けない万年雪（小氷河と表現されることがある）が存在することや、氷河の痕跡として特徴的なカール地形が存在することから、かつて氷河が形成されていたという説がある。このため、山麓の市町村では「氷河」を冠した特産品が見受けられる。

鳥海山の固有種としてはチョウカイアザミやチョウカイフスマがある。



月山 : 標高 1984m

百名山 17/100

月山（がっさん）は、山形県の中央部にあり、出羽丘陵の南部に位置する標高1,984mの火山。山域は磐梯朝日国立公園の特別区域に指定され、日本百名山、新日本百名山、花の百名山及び新・花の百名山に選定されている。また、山麓は月山山麓湧水群として名水百選、月山行人清水の森として水源の森百選にも選定されている。

標高1,500mの湯殿山、418mの羽黒山とともに出羽三山のひとつに数えられ、修験者の山岳信仰の山として知られる。山頂には月山神社が鎮座し、多くの修験者や参拝者が訪れる。蜂子皇子が開山したと伝えられる。古くからの名では犁牛山（くろうしのやま）という。

山体の姿は山形盆地、庄内平野、最上地方からよく見える。置賜地方であっても天候が良ければ望める。豊富な残雪のため、国内では乗鞍岳や立山と共に夏スキーが可能な山としても知られる。また、山形県のスポーツ県民歌に登場し、県を代表し親しまれている山である。





朝日岳 : 標高 1870.3m

百名山 18/100

朝日岳（あさひだけ）は山形県と新潟県の県境上、朝日山地の南部にある山塊。主峰の大朝日岳（標高 1870m）は県境ではなく山形県に属する。その他北東に小朝日岳（標高 1648m）、北西の県境上に西朝日岳（標高 1814m）がある。

北の出羽三山、南の飯豊連峰とともに磐梯朝日国立公園に含まれる。朝日という山の名は日本に十数座あるが「朝日連峰」といえばこの山のことを指す。

日本百名山のひとつに数えられる。



飯豊山 : 標高 2105m

百名山 19/100

飯豊山（いいでさん）は、越後山脈北部にある飯豊連峰の主峰であり飯豊本山とも呼ぶ。

磐梯朝日国立公園内に位置し、可憐に咲く高山植物が有名で、日本百名山のひとつに数えられている。飯豊連峰の主峰は標高 2,105.1m の飯豊山であるが、最高峰は標高 2,128m の大日岳である。

飯豊山は山形県小国町と新潟県阿賀町の県境にあるが、南東麓の福島県側から山頂を経て御



西岳に至る登山道付近のみが福島県喜多方市になっており、山頂付近は喜多方市である。理由は、明治期に廃藩置県後飯豊山付近が新潟県に編入されたが、飯豊山神社を本宮とする福島県側の猛烈な反対運動により、参道にあたる登山道および山頂を再び福島県にすることで決着した結果である。その為、福島県の県境がいびつな結果になっている。

